



第15回ふくしま学(楽)会・第3回福島再生塾

ふくしまから伝えたいこと、 知らなければいけないこと。

2011年3月の東日本大震災・福島原発事故からまもなく14年を迎えます。2023年4月には、福島復興の基本理念である創造的復興の「知の拠点」として構想された福島国際研究教育機構（F-REI）が浪江町に開所し、2023年8月には1F（福島第一原子力発電所）からALPS処理水の海洋放出が開始されました。また、2024年11月には、2号機からの燃料デブリの試験的取り出しが初めて行われました。

早稲田大学は、2017年5月、福島県広野町との協力協定に基づき、早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンターを開設し、長期的・広域的な観点から、福島復興と廃炉について地域社会とともに調査研究を行ってきました。2019年1月には、2050年に持続可能な福島県浜通り地域の形成を目標としたふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ構想（SI 構想）を発表し、（1）1F廃炉の先研究会：1F廃炉の将来像と1F廃炉プロセスの地域資源化の調査研究、（2）創造的復興研究会：科学と政治と社会の協働による新たな知識創造と社会イノベーションの形成に関する調査研究、という2つの研究会活動を展開しています。

こうした研究会活動と並行し、世代を超えて、地域を超えて、分野を超えて、福島復興と廃炉について共に考える「対話の場」として「ふくしま学（楽）会」を開催しています。また、2022年7月には、福島県立ふたば未来学園中学・高校と協力協定を締結し、1F廃炉政策に関する「対話の場」＝「学びの場」として1F地域塾を立ち上げました。さらに2024年4月には、福島県富岡町および株式会社ふたばと協力協定を締結し、科学と政治と社会が協働して福島復興を考える福島再生塾を設立しました。

今回の第15回ふくしま学（楽）会・第3回福島再生塾は「福島復興の過去・現在・未来：我々は何処から来たのか、我々は何者か、我々は何処へ行くのか」をテーマとし、福島再生塾の3本柱（大学PJ、津島PJ、基金PJ）について、特に福島県浜通り地域における高等教育機関・創設の必要性と重要性について、世代を越え、分野を越え、地域を越えて共に考え、広く深い対話を行いたいと考えています。

日 時：2025年1月26日（日）13:10-17:50

会 場：福島県立ふたば未来学園・地域協働スペース（福島県広野町）＋オンライン（傍聴のみ）

<https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp>

参加登録：参加申込みは以下のWebサイトから行ってください。

<https://forms.gle/QhbpCZd3Gz8Px6x97>

主 催：早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター

早稲田大学レジリエンス研究所（WRRI）

共 催：福島県広野町（予）、福島県富岡町（予）、福島県双葉町（予）

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

後 援：福島イノベーション・コースト構想推進機構（予）、双葉地方町村会（予）

早稲田大学アジア太平洋研究センター（WIAPS）

早稲田大学環境総合研究センター（WERI）

問合せ先：0240-27-2111 福島県広野町総務課 担当：大和田 徹

03-5292-3526 早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター・事務局

Lin Weiyi charlottelin7@toki.waseda.jp

*本事業は、福島イノベーション・コースト構想推進機構・2024年度大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業により実施しています。

（プログラムの詳細は裏面にあります）





総合司会：小磯匡大（1F地域塾・副塾頭、福島県立ふたば未来学園高等学校・教諭）

第15回ふくしま学(楽)会・第3回福島再生塾の開会にあたって

松岡俊二（福島再生塾・塾頭、早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター・センター長）

開会挨拶：13:10-13:40

遠藤 智（福島県広野町・町長）

山本育男（福島県富岡町・町長）

伊澤史朗（福島県双葉町・町長）（予）

新保隆志（福島県大熊町・副町長）

郡司 完（福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校・校長）

加藤篤史（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・研究科長、早稲田大学アジア太平洋研究センター・所長）

小野田弘士（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・研究科長、早稲田大学環境総合研究センター・所長）

報告とパネル・ディスカッション：13:40-15:20

福島復興の過去・現在・未来：我々は何処から来たのか、我々は何者か、我々は何処へ行くのか

報告(各10分)：13:40-14:10

竹原信也（福島再生塾・運営委員、福島県富岡町・副町長）

「福島原子力災害を踏まえ、科学技術と社会の持続可能な関係を築く高等教育機関の創設を考える」

林 誠二（福島再生塾・副塾頭、津島WG主査、国立環境研究所・福島拠点・研究グループ長）

「津島地区(浪江町)の住民参加型環境アセスメントから、福島浜通りの里山再生を考える」

崎田裕子（1F地域塾・副塾頭、基金WG主査、環境ジャーナリスト）

「2050年の持続的浜通り地域社会の形成を支える福島再生基金の創設を考える」

パネル・ディスカッション：14:10-15:20

パネル司会：森口祐一（1F廃炉の先研究会・副代表、国立研究開発法人・国立環境研究所・理事）

パネリスト：菅波香織（未来会議・事務局長、弁護士）

安東量子（福島ダイアログ・理事長）

猿田和孝（秋田県五城目町教育委員会生涯学習課・主査）

工藤尚悟（公立大学法人・国際教養大学国際教養学部・准教授）

斎藤琴音（福島県立ふたば未来学園・高校 2年）

霜村康仁（福島県立ふたば未来学園・高校 2年）

Zoe Decarpentrie（ブリュッセル自由大学（ULB）修士2年、早稲田大学交換学生）

佐々木京香（早稲田大学教育学部 4年）

本多修造（早稲田大学創造理工学部 3年）

（15:20-15:30：休憩）

対話の場：15:30-16:40 少人数グループによる「対話の場」（会場参加者のみ）

（16:40-16:50：休憩）

全体会：16:50-17:40：

司会：井上 正（1F地域塾・副塾頭、電力中央研究所・名誉研究アドバイザー）

閉会挨拶：17:40-17:50

松岡俊二（福島再生塾・塾頭、1F地域塾・塾頭、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授）

